

事前評価個表

整理番号	26
------	----

地域（地区）名	<small>おおいたほくぶ</small> 大分北部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	大分県	対象市町村	<small>べつぶし</small> 別府市ほか6市町
事業実施期間	H31 ～ H35（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は大分県の北部に位置し、東に国東半島の両子山系、南は一尺八寸山から人見岳を経て由布岳、西は犬ヶ岳、英彦山による山々の稜線に、北は周防灘から伊予灘及び東にかけての別府湾の海岸に囲まれた6市1町を包括する地域である。</p> <p>本地区の総面積は194,015haであり、このうち民有林森林面積は116,266ha（民有林率60%）となっており、スギ・ヒノキを主体とした人工林面積は52,151ha（人工林率45%）で県平均52%を下回っている。</p> <p>また、本地区内の基盤整備の状況は林道延長531km（密度4.57m/ha）、作業道1,009km（密度8.68m/ha）が整備されているが、県平均路網密度の林道4.83m/ha、作業道11.44m/haをとともに下回っている。</p> <p>本地区内の森林資源の状況は、8齢級以上の森林が64%と利用の適期を迎えた森林が増加しており、高齢級に偏った齢級配置となっている。</p> <p>このことから、主伐、再造林、下刈り及び利用間伐を中心とした森林整備を実施し、森林資源の循環利用と健全な森林の保全を図る必要がある。</p> <p>これまで、間伐等の森林整備と一体的に路網を整備し、施業の集約化と低コスト化により、間伐材等の搬出率を増加させてきたところであり、本事業により、更に推進させるとともに、利用期を迎えた森林資源の有効活用^{がん}の観点から効率的な主伐及び低コスト再造林による森林施業を実施し、森林の有する水源涵養や土砂流出防止等の公益的機能の高度発揮を図るものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,275ha 人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>総事業費：2,341,893千円（税抜き 2,168,419千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.04 （総便益（B）=16,379,986千円、総費用（C）=4,056,368千円）</p>
評価結果	<p>必要性：主伐、再造林、下刈り及び利用間伐が求められる地域であり、適正な森林施業の推進を図り、地域材の利用促進と森林の有する公益的機能を発揮させるための事業であり、必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：齢級配置が高齢級に偏っているという地域の特性、森林資源の現状等を踏まえ、森林資源の循環利用と健全な森林の保全を図るための事業であり、有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 大分県

地域(地区)名: おおいたほくふ 大分北部

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,726,142	
	流域貯水便益	104,154	
	水質浄化便益	243,771	
山地保全便益	土砂流出防止便益	3,472,313	
環境保全便益	炭素固定便益	3,523,435	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	3,310,171	
総 便 益 (B)		16,379,986	
総 費 用 (C)		4,056,368	
費用便益比	$B \div C = \frac{16,379,986}{4,056,368} = 4.04$		

森林環境保全整備事業 北部流域(大分県)



凡 例	
計画区界	
事業区域	
森林整備	
林業専用道等整備	

